

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2012-127351 (P2012-127351A)
 【公開日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-026
 【出願番号】特願 2011-273125 (P2011-273125)
 【国際特許分類】

F 0 1 N 3/08 (2006.01)

B 0 1 D 29/11 (2006.01)

【 F I 】

F 0 1 N 3/08 B

B 0 1 D 29/10 5 0 1 C

B 0 1 D 29/10 5 1 0 G

B 0 1 D 29/10 5 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 10 日 (2014.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

尿素 水 溶液が排気ガス流 (1) 内に注入される、S C R 排気ガス後処理装置であつて、

内部空間 (5 0) に存在して当該尿素 水 溶液に接する少なくとも 1 つのフィルタ部材と、

前記少なくとも 1 つのフィルタ部材と境界を接する凍結補償フォーム (4 3) 内に埋設されたエラストマー膜 (4 2) と

からなり

前記内部空間 (5 0) に前記フィルタ部材が収容される際は、前記エラストマー膜 (4 2) と前記凍結補償フォーム (4 3) は、前記フィルタ部材の少なくともその一部を囲むよう構成される

S C R 排気ガス後処理装置。

【請求項 2】

前記エラストマー膜 (4 2) は前記凍結補償フォーム (4 3) とともに、1 0 パールまでの圧力において 1 0 % 以上の容積減が防止されるに十分な硬質を有するよう構成されることを特徴とする、

請求項 1 に記載の S C R 排気ガス後処理装置。

【請求項 3】

換気部材 (5 1) が設けられており、当該換気部材は、前記凍結補償フォーム (4 3) の容積が変化する際に圧力補償を可能にすることを特徴とする、

請求項 1 または 2 に記載の S C R 排気ガス後処理装置。

【請求項 4】

前記換気部材 (5 1) は、ガス透過性かつ透水性の分離要素を有することを特徴とする

、
 請求項 3 に記載の S C R 排気ガス後処理装置。

【請求項 5】

前記フィルタ部材内部に栓が備えられていることを特徴とする、
請求項 1 に記載の S C R 排気ガス後処理装置。

【請求項 6】

前記フィルタ部材は、硬質の収容部 (2 0) 内に挿入されており、当該収容部内には、
前記エラストマー膜 (4 2) が緊密に挿入されていることを特徴とする、
請求項 1 に記載の S C R 排気ガス後処理装置。

【請求項 7】

前記収容部 (2 0) には、フィルタハウジング (4 4) が固定されており、当該フィル
タハウジングは、前記エラストマー膜の封止ビード (5 3) を前記収容部 (2 0) に対
して押圧することを特徴とする、
請求項 6 に記載の S C R 排気ガス後処理装置。

【請求項 8】

前記収容部 (2 0) は、封止部材 (4 9) によって前記フィルタハウジング (4 4) に
対して押圧されることを特徴とする、
請求項 6 に記載の S C R 排気ガス後処理装置。